



試練を越えて、インターハイ優勝！
重ねた努力は、自分を裏切らない。

「中学2年生の時、私の知らないうちに母が『J-STAR（ジャパン・ライジング・スター）プロジェクト』※1に応募して。」と笑う佐々木瑠那さん。利府町に生まれ育ち、幼い頃から高い運動能力を発揮。オリンピックで活躍できる人材

十符人

「とふとー」

「十符人（とふとー）」では、毎月、利府の魅力づくりや魅力発信に貢献している方を取り上げていきます。



宮城県農業高等学校・3年生
ウエイトリフティング部

ささき るな
佐々木 瑠那さん

2008年利府町生まれ。利府西中学校2年生の時、『J-STARプロジェクト』※1でウエイトリフティングの才能を見出され、2024年4月、強豪校である宮城県農業高校に入学。1年生の11月『令和6年度全日本女子選抜選手権大会64kg級』で優勝、3年生の8月『令和8年度全国高等学校総合体育大会（滋賀インターハイ）女子63kg級』で優勝を果たす。

練習も大会出場もできず、とても辛い思いをしました。その時に支えてくれたのが、当時の監督で元オリンピック選手の手嶋和夫先生、中学時代から一緒に練習をしてきたインターハイ2連覇の佐藤和花先輩です。治療・療養に専念して再起、今年8月に滋賀インターハイで優勝できましたと笑顔。「今後は世界ジュニア大会で活躍、大学入学後も力をつけ、オリンピックに出場するのが目標です。将来は指導者になって、お世話になった方々に恩返ししたい。練習した分だけ記録を伸ばせるのがウエイトリフティングの魅力。町の皆さんにもぜひ体験してみてほしいです」と話します。



滋賀インターハイ（会場：滋賀県立安曇川高等学校）授賞式の様子。



ウエイトリフティング部での練習風景

- ※1：スポーツ庁が主導し、日本スポーツ振興センターや各競技団体などが連携して実施。メダルを獲得する潜在能力を持つ人材を発掘し、各競技団体の専門的な強化コースにつなぐ国家プロジェクトで、多数のメダリストを輩出。
- ※2：エントリー後の基礎測定会等の選考により自分の向いている競技を知ることができ、各競技団体の指導者による検証プログラムで有望者と判断されたアスリートは中央競技団体の強化・育成コースで引き続きトレーニングを重ねていく機会が得られる。
- ※3：1992年バルセロナオリンピック・重量挙げ代表選手。引退後、宮城県農業高等学校の教諭、ウエイトリフティング部の監督を務める。2026年4月宮城県柴田高等学校に異動。
- ※4：ウエイトリフティング女子55kg級、2024年、2025年インターハイで大会2連覇、大会新記録も樹立。将来のオリンピック代表候補として注目されているトップアスリートで、佐藤和夫氏の長女。

窓口開庁時間変更のお知らせ

令和8年12月14日（月）から開庁時間を変更します。

「住民サービスの品質向上」と「働き方改革の推進」を目的として、下記のとおり開庁時間を変更いたします。

変更前

8:30～17:15



変更後

9:00～16:30

対象施設

●利府町役場本庁舎（町民交流館除く） ●保健福祉センター ●給食センター

※開庁時間の変更に合わせて、電話受付時間も変更となります。



詳しくは、今後の広報りふや町ホームページなどでお知らせいたします。ご理解とご協力をお願いします。

問 総務課 人事係 ☎767-2192

